



伊吹いりこ、イグキホワイト、ロメイソルタス
 かんおんじの食材を
 使った給食をパクツ
 詳しくは
 5ページへ



あなたと市政をぶさる



かんおんじ

2024 / 令和6年 1 January

全国大会出場おめでとうございます

(写真左から敬称略)



第54回U16陸上競技大会 (10月21日開催)
男子棒高跳び 優勝
観音寺第一高等学校 1年 大西亮暉



第51回マーチングバンド全国大会 (12月9日開催)
大野原小学校・観音寺マーチングバンドHumming Wind



第11回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会 (12月17日開催)
日本空手道 真心會館
三宅瑛人、石川烈己



第32回全国小学生バドミントン選手権大会 (12月22日～26日開催)
三観ジュニアバドミントンクラブ
高田晃英、松井雅治、大西莉生、竹川龍

11/4 かんおんじフェアin有楽町で市の魅力PR

東京・有楽町駅前広場でかんおんじフェアを開催し、特産品販売やふるさと応援大使による試食トークショーを行いました。大使委嘱から1年を振り返り、お笑い芸人ガリベンズ矢野さんは「今後も大使の名刺を配って、市の知名度上昇に貢献したい」、AKB48行天優莉奈さんは「もっと市の魅力を広めたい。いろんなお店などを紹介できたら」と意気込みを語りました。



うどんや骨付き鳥などを試食しました！

11/12 新鮮野菜や果物が軽トラ荷台にずらり

軽トラック市「銭形いろどり市」がハイスタッフホール前の観音寺まちなか交流駐車場で開催されました。市内の農業漁業関係者や笠田高校生、障がい者福祉事業所など15団体が出店、家族連れなどが多く訪れました。市内から訪れた人は「レタスやネギ、カブなど安くて新鮮な野菜ばかり。出店している方から『食べて菜』という野菜を薦めてもらい、調理法も教わった。初めて食べるので楽しみ」と笑顔で話していました。

果物や魚など景品が当たるクイズも実施！



かんおんじタウン情報

10/20~11/16 伊吹島で「グリスロ」実証実験

坂道が多い伊吹島で、高齢者でも外出しやすいよう「グリーンスローモビリティ(通称グリスロ)実証事業」を実施しました。グリスロは時速20キロメートル未満で走行する電気自動車で、10月20日から11月16日にかけて島内で住民試乗会やテスト走行を行いました。市では、人にも伊吹島の自然にも優しい公共交通の検討を進めていきます。



11/1 100歳の長寿を祝い市長が訪問

合田弘さん(豊浜町)が10月31日に100歳を迎え、佐伯市長が長寿を祝いました。家族や施設職員が集まりにぎやかにお祝い。百寿の色「ピンク」のちゃんこを着た合田さんは、得意のオッケーマークを指で作り、にこやかに答えていました。甘いものが大好きで、体調が良い日は車いすで過ごしているそうです。これからもお元気でお過ごしください。



11/1~3 才能さりり! 渾身の作品で成果披露

ハイスタッフホールで第18回観音寺市民文化祭作品展(観音寺地区)が開催されました。華道や陶芸、押し花、墨絵、小品盆栽、写真、洋画、書道の力作が428点並び、来場者は一作品、一作品じっくりと鑑賞していました。盆栽を出品している観音寺小品盆栽会の三好隆雄さんは「披露する場があるので、きれいにしようと手入れに張りが出る」と話していました。



子どもたちのふるさと応援活動

小・中学生が、地域のあちこちで活躍中！
さまざまな取り組みを紹介します。

11/7 豊浜小・中学校

地域貢献の一環として、中学校の生徒会が中心となり、全校生徒と豊浜小学校6年生が合同で町内を清掃しました。



11/20 一ノ谷小学校

ふるさとクリーン作戦で、自分たちの町を美しくしようと、5年生が下校時に通学路を清掃しました。



11/28 伊吹小・中学校

児童生徒8人が手作りのげんこつ飴とカレンダーを持って、独居高齢者46人の家を訪れました。



11/15-22-29 生産者へ感謝していただきます!イブキホワイトや伊吹いりこを使った給食にご満悦

22日と29日、市内小中学校や公立幼稚園・こども園・保育所で産地消費の日・第2弾を実施しました。伊吹いりこでだしをとったラーメンや釜揚げいりこのスパイスフライ、ロメインレタスのサラダなど地元の食材を使ったメニューが登場。大野原小学校では漁協関係者から伊吹いりこや漁について話を聞きました。児童は「ラーメンのスープにいりこだしが効いて、野菜と合っていておいしかった」と話していました。



15日、大野原学校給食センターから提供される大野原こども園・大野原小学校・中学校の給食に幻のサツマイモ「イブキホワイト」が初登場。素朴な甘みを味わってほしいと、大野原中学校では蒸してから焼いた焼き芋が出され、生徒たちはおいしそうに食べていました。生徒は「白いサツマイモは初めて見た。甘くておいしかったのでこれからもメニューに出してほしい」と話していました。

特選伊吹いりこラーメン (家庭向けレシピ)

材料 (4人分)

中華めん 4袋、豚肉120g、料理酒大さじ1、おろしニンニク小さじ1、おろしショウガ小さじ1、食べる菜(小松菜) 1/4袋、金時ニンジン1/4本、キャベツ3枚、シタケ2個、葉ネギ4本、水6カップ、いりこ40g、鶏ガラスープのもと大さじ1、こいくちしょうゆ大さじ2、だししょうゆ大さじ3、ごま油大さじ1、いりこ粉末小さじ2

作り方

1 鍋でいりこだしをとる。2 豚肉を一口大に切り料理酒をまぶす。食べて菜は2cm幅、キャベツは一口大に切り、金時ニンジンは2mmのいちよう切り、シタケは薄切り、葉ネギは小口切りにする。3 鍋にごま油とニンニク、ショウガを入れて軽く炒めた後豚肉を入れる。豚肉の色が変わったら金時ニンジンとシタケを加えて炒め、だしと調味料を入れる。沸いたら残りの野菜を入れ、火が通るまで2~3分炊く。4 麺を温めて器に盛ってスープを注ぎ、いりこ粉末を振って完成。

学校給食の献立を作成している栄養教諭



観音寺ブランド認証品 幻のサツマイモ「イブキホワイト」とは?

サツマイモの一種で、皮が白い芋(アメリカ芋・七福芋)は、明治時代にアメリカから全国各地に伝わり、稲作が難しい伊吹島でも栽培され、食べ継がれてきました。戦後、島外から手に入る米が主流になり栽培量は減少しましたが、島の特産品にして残していこうと令和2年に市民団体「伊吹島元気隊」が結成され、「イブキホワイト」と命名して島内で耕作を開始、令和5年3月には観音寺ブランドに認証されました。

せとうち伊吹島元気隊の篠原幸喜さんは「イブキホワイトは伊吹島の宝の作物。学校給食で子ど

もたちに食べてもらえて喜んでます。ぜひ、多くの皆さんに食べてもらいたい」と話しました。イブキホワイトは道の駅とはまで購入できます。

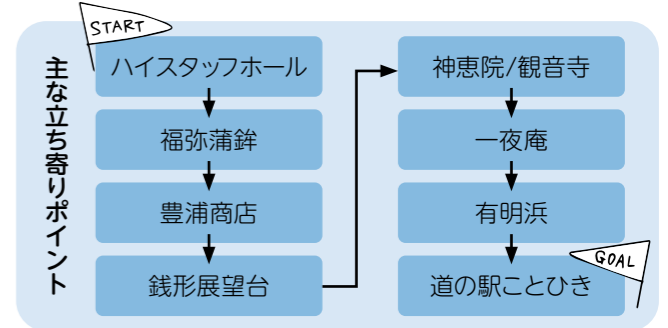


NPO法人せとうち伊吹島元気隊 理事長 篠原 幸喜さん



11/11 かんおんじを歩いて満喫♪第2回「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin観音寺市」開催

第2回「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin観音寺市」が開催され、県内外から84人が参加しました。銭形砂絵や一夜庵、有明浜などを巡る約6キロのコースで、うどんや揚げたてのえび天、地酒など地元の名産を味わいました。参加者は「街並みや文化財などから観音寺市の歴史や文化を感じられ、食べ物もおいしく、とても充実したコースで楽しめた」とゴール後満足そうに話していました。



11/18 戦後78年 平和を願い、守り続ける

ハイスタッフホール小ホールで戦没者追悼式が開かれ、遺族や関係者が参列しました。式では市遺族連合会の石川豊会長が追悼の言葉を述べたほか、参列者が白い菊の花を手向けて戦没者を悼みました。佐伯市長は、「先人の努力で日本は平和で豊かな国になった。いま、世界で武力紛争が起きているが、あってはならないことだ。一人ひとりが平和で優しく思いやりのある心を持ちたい」と述べました。



11/19 国指定史跡「大野原古墳群」の石室を見学

大野原八幡神社、大野原中央公園で第5回大野原古墳まつりが開催されました。大野原小・中学生25人がナビゲーターとなり、椀塚・岩倉塚・平塚・角塚古墳の歴史や魅力を説明しました。来場者は「石室内は思っていたよりも広くて暖かい」と興味深く見学し、ナビゲーターを務めた中学生は「説明をしているうちに自分自身の理解も深まり勉強になる」と話していました。



のりあいバスに 乗ってみよう!

時刻表・
運行経路

バスの現在地表示*



*観音寺市バスロケーションシステム(実証実験)

● 路線

①内循環線 ②外循環線 ③栗井姫浜線
④五郷高室線 ⑤箕浦観音寺線 ⑥伊吹線
市内の公共施設や病院、スーパーマーケットなどを
経由。観音寺市役所、ハイスタッフホール、J
R観音寺駅、三豊総合病院には、伊吹線を除く5
路線すべてが停車します

● 料金

1回1000円
※障がい者手帳を提示した人、小学校就学前のお子
さん、通学利用の小中学生は無料

● 乗り降りできる場所

運行経路内(国道11号や交差点付近、カーブの
途中などの危険な場所を除く)であれば、バス
停以外の場所でも自由に乗り降りできます。

● 運行日

日曜日と12月29日～1月3日以外は毎日運行
(伊吹線は祝日も運休)

● のりあいバス乗り方講座(出前講座)

各地区のバス路線の状況に合わせた乗り方や、
バスを利用したモデルコースを市職員が紹介。
グループなどで活用してください。

のりあいバスの乗り方と降り方

1

バスの路線上の
安全な場所で待つ

※バスの進行方向
でお待ちください

2

バスが来たら
大きく手を挙げる

※バス停で
いる際も
手を挙げ
ましょう



4

バスの停車後、
料金を支払い降りる
※1,000円で11回乗
車できる回数券を
車内、地域支援課
各支所で販売中

3

乗車時、運転手に
行き先を伝える

※目的地の近くで
下車できます



問い合わせ先

のりあいバスについて 地域支援課 ☎23-3949 出前講座について 秘書課 ☎23-3915

11/24 玉尾皓平さんが文化勲章受章を報告

観音寺市名誉市民で、香川県出身者として初めて文化勲章を受章した玉尾皓平さんが佐伯市長を表敬訪問しました。玉尾さんは、小中高校の同級生約20人と横断幕を掲げた市職員から拍手で歓迎を受けました。玉尾さんは「国内最高の栄誉を頂き、身に余る光栄」と話し、「観音寺を思う気持ちは持ち続けている。次代を担う子どもたちを科学の道に導けるよう役立てれば」と語りました。



11/19 6カ国の家庭料理でお腹も心も満腹

市国際交流協会が、各国の家庭料理を作り交流する「お国自慢料理大会」を常磐総合コミュニティセンターで4年ぶりに開催し、70人が参加しました。参加者は、アメリカ、インドネシア、中国、フィリピン、ベトナム、日本の6カ国の料理を市内企業で働く外国人や市食生活推進協議会のメンバーから教わりながら調理。餃子を包んだり、ハンバーグを丸めたりと和気あいあいと作り、完成した各国の料理を満足そうに食べ比べていました。



11/19 紅葉を堪能!五感で楽しむもみじ祭り

法泉寺でもみじ祭りが4年ぶりに開催され、多くの人でにぎわいました。イチヨウやモミジが色鮮やかに彩る境内では、琴の演奏や茶席が設けられゆったりとした時間が流れていました。紅葉の写真を撮る人、抹茶を味わい琴の音色に聞き入っている人、イチヨウの黄色いじゅうたんで遊ぶ子どもたちなど思い思いに晩秋を満喫。高松市から訪れた人は「趣があってきれい。抹茶もおいしかった」と話していました。

会場では、名物の「もみじ祭りまんじゅう」やばらずし、田野々地区で採れた野菜、こんにやくなどの販売やうどんのバザーが行われました。

